

受検番号	第	番
------	---	---

平成28年度学力検査問題

社 会 (11時45分~12時25分)
(40分間)

注 意

1 解答用紙について

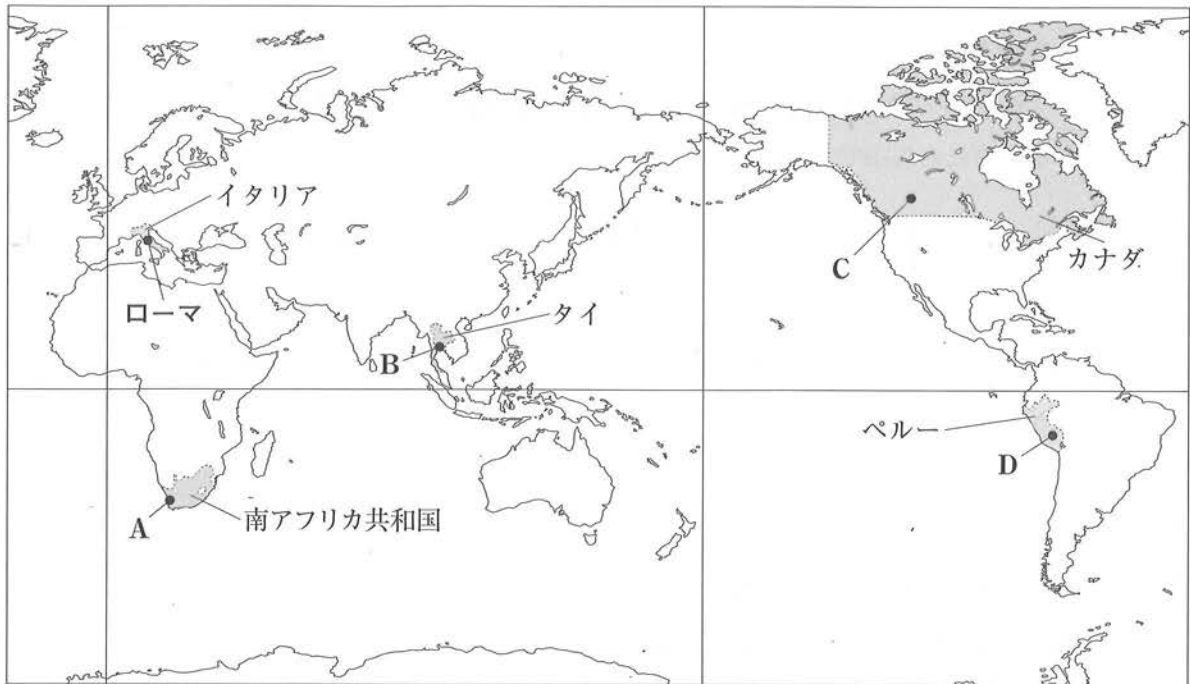
- (1) 解答用紙は1枚で、問題用紙にはさんであります。
- (2) 係の先生の指示に従って、所定の欄2か所に受検番号を書きなさい。
- (3) 答えはすべて解答用紙のきめられたところに、はっきりと書きなさい。
- (4) 解答用紙は切りはなしてはいけません。
- (5) 解答用紙の*印は集計のためのもので、解答には関係ありません。

2 問題用紙について

- (1) 表紙の所定の欄に受検番号を書きなさい。
 - (2) 問題は全部で6問あり、表紙を除いて14ページです。
- 印刷のはっきりしないところは、手をあげて係の先生に聞きなさい。

1 Kさんは、イタリア、南アフリカ共和国、タイ、カナダ及びペルーの5か国について調べました。次の地図をみて、問1～問4に答えなさい。(14点)

地図



問1 地図中の、カナダがある大陸の名称を書きなさい。(3点)

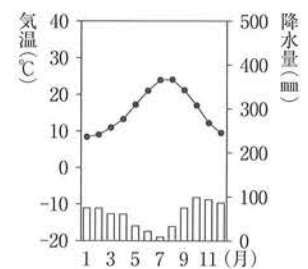
問2 次の の中に示した緯度と経度であらわされる地点として最も適切なものを、地図中のA～Dの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(2点)

南緯14度, 西経72度

問3 Kさんは、地図中のローマ及び、B、C、Dの地点の様子について調べました。次の(1)と(2)の問いに答えなさい。

(1) 右のグラフは、地中海性気候に属するローマの気温と降水量について示したものです。グラフから読みとれる地中海性気候の特色を、夏と冬の降水量に着目して書きなさい。(4点)

グラフ



(理科年表 平成22年から作成)

(2) 次の資料は、地図中のローマ及び、B、C、Dのいずれかの地点の気候にみられる代表的な景観を示しています。ローマが属する地中海性気候の景観として最も適切なものを、資料中のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(2点)

資料



問 4 Kさんは、イタリア、南アフリカ共和国、タイ及びカナダの4か国について、日本との間の1970年と2014年における輸入総額、輸出総額と輸出入品の総額にしめる割合(上位3品目)を調べ、次の表をつくりました。表から読みとれる内容として正しいものを、下のア～オの中からすべて選び、その記号を書きなさい。(3点)

表

1970年		イタリア		2014年	
日本からの輸入(%)	日本への輸出(%)	日本からの輸入(%)	日本への輸出(%)	日本からの輸入(%)	日本への輸出(%)
鉄鋼	39	機械類	40	機械類	15
機械類	16	有機化合物	7	自動車	15
魚介類	8	衣類	5	二輪自動車	11
総額(億円)	691	総額(億円)	484	総額(億円)	3721
				総額(億円)	9105

1970年		南アフリカ共和国		2014年	
日本からの輸入(%)	日本への輸出(%)	日本からの輸入(%)	日本への輸出(%)	日本からの輸入(%)	日本への輸出(%)
機械類	23	鉄鋼	12	自動車	21
自動車	20	砂糖	11	機械類	15
鉄鋼	12	鉄鉱石	9	自動車部品	12
総額(億円)	1186	総額(億円)	1226	総額(億円)	3431
				総額(億円)	6039

1970年		タイ		2014年	
日本からの輸入(%)	日本への輸出(%)	日本からの輸入(%)	日本への輸出(%)	日本からの輸入(%)	日本への輸出(%)
機械類	32	天然ゴム	30	機械類	35
鉄鋼	15	とうもろこし	21	鉄鋼	6
自動車	10	魚介類	8	自動車部品	5
総額(億円)	1617	総額(億円)	683	総額(億円)	33198
				総額(億円)	22995

1970年		カナダ		2014年	
日本からの輸入(%)	日本への輸出(%)	日本からの輸入(%)	日本への輸出(%)	日本からの輸入(%)	日本への輸出(%)
機械類	26	銅鉱	16	自動車	11
自動車	15	木材	12	機械類	11
鉄鋼	11	小麦	9	自動車部品	10
総額(億円)	2028	総額(億円)	3343	総額(億円)	8458
				総額(億円)	11900

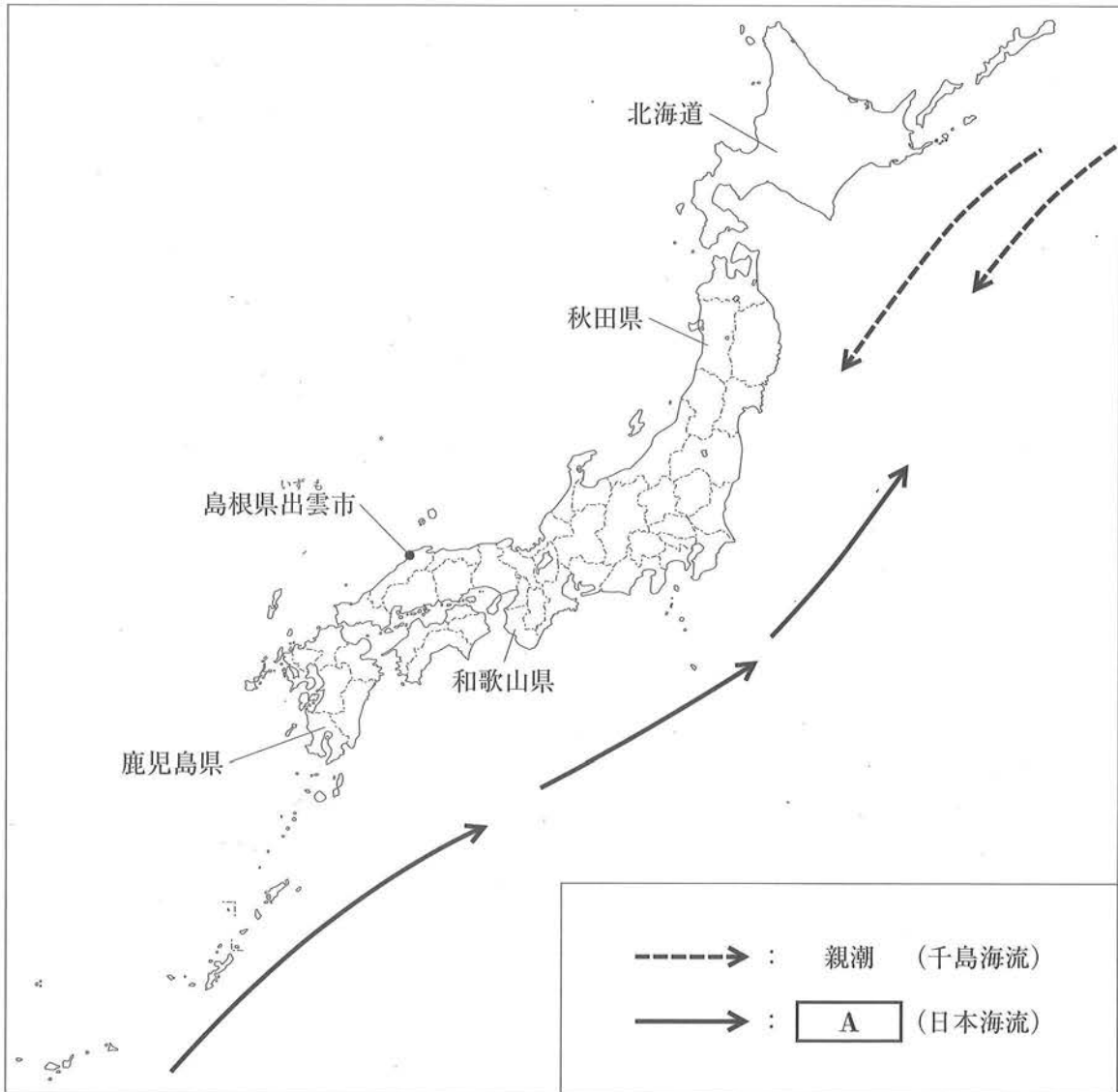
(注) 有機化合物は、炭素を含む化合物のことで、日用品・工業製品・医薬品などの素材として用いられる。パラジウムは、電子・電気材料用、宝飾用合金、歯科用合金などに利用される。

(数字でみる日本の100年改訂第6版、日本国勢図会2015/16年版から作成)

- ア タイにおいて、日本への輸出総額をみると、2014年は1970年の30倍以上に増えている。
- イ カナダにおいて、2014年の日本からの輸入品目の第1位である自動車の輸入額は3000億円を超えている。
- ウ 南アフリカ共和国において、2014年の日本への輸出品目の第1位は白金(プラチナ)である。
- エ イタリアにおいて、1970年、2014年ともに、日本からの輸入総額は日本への輸出総額より多い。
- オ 2014年をみると、日本からの輸入総額が日本への輸出総額を上回る国は、南アフリカ共和国とタイである。

2 Nさんは、地理的分野の授業で日本の諸地域を学習したあと、地図1を作成しました。地図1をみて、問1～問4に答えなさい。(15点)

地図1



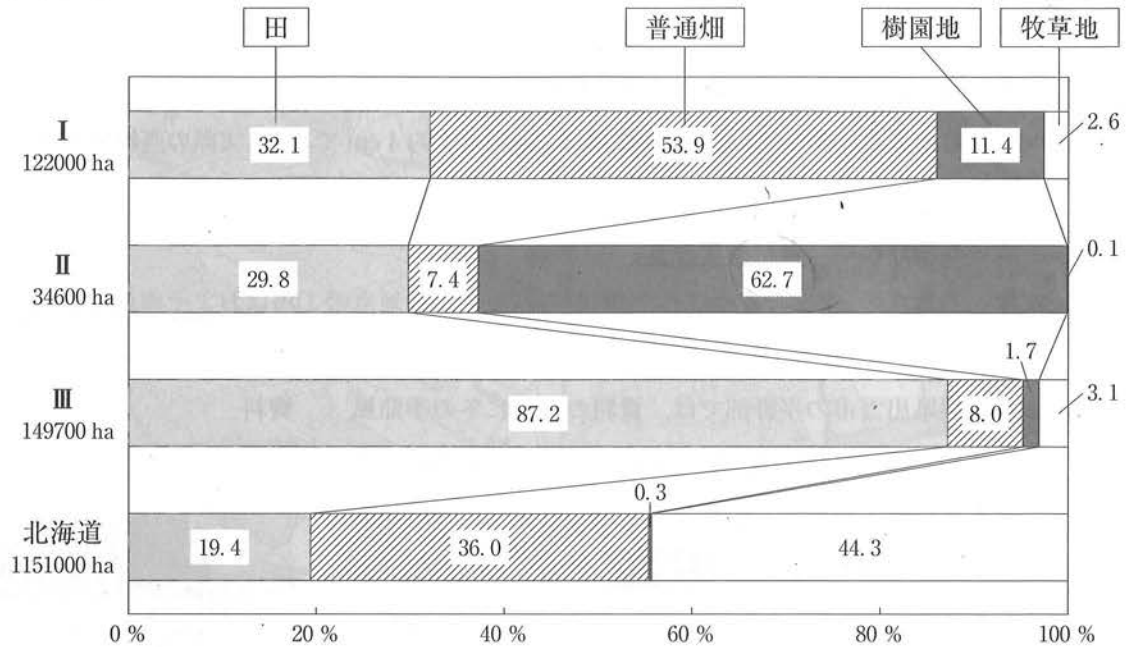
問1 Nさんは、日本を取りまく海の様子について調べ、地図1中に2つの海流を模式的に示し、次のようにまとめました。地図1及びまとめの中の **A** にあてはまる語を書きなさい。(3点)

まとめ

東日本の太平洋沖は、寒流の親潮(千島海流)と暖流の **A** (日本海流)が流れている。寒流と暖流がぶつかる海域は、潮目(潮境)とよばれ、豊かな漁場となっている。

問 2 次のグラフ1は、地図1中に示した北海道、秋田県、和歌山県、鹿児島県における耕地面積と、耕地面積にしめる田、普通畑、樹園地、牧草地の割合(2013年)を示したものです。グラフ1中のⅠ～Ⅲにあたる県の組み合わせとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(2点)

グラフ1



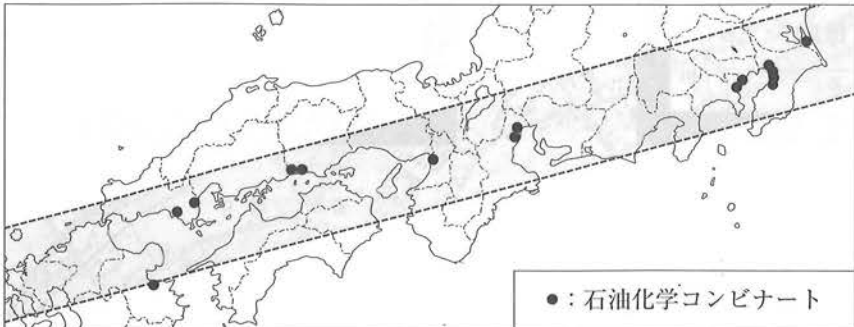
(注) 樹園地は果樹園や茶畑など。普通畑は田・樹園地・牧草地以外の耕地。
(データでみる県勢 2015年版から作成)

- ア I - 秋田県 II - 鹿児島県 III - 和歌山県 イ I - 和歌山県 II - 鹿児島県 III - 秋田県
ウ I - 鹿児島県 II - 秋田県 III - 和歌山県 エ I - 鹿児島県 II - 和歌山県 III - 秋田県

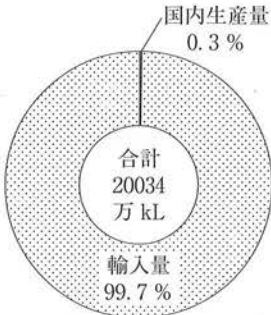
問 3 次の図は石油化学コンビナートの所在地(2013年末現在)を、グラフ2は日本における石油の国内生産量と輸入量の割合(2014年)をあらわしたものです。石油化学コンビナートが、臨海部に集中している理由を、グラフ2をみて書きなさい。

また、図の [] で示された地域には、工業地域や工業地帯が帯状に形成されました。この地域の名称を書きなさい。(5点)

図



グラフ2



(日本国勢図会 2015/16年版から作成)

問 4 右の地図 2 は、地図 1 中の島根県出雲市の一部を示した 2 万 5 千分の 1 の地形図です。これ
をみて、次の(1)と(2)の問いに答えなさい。

(1) 右の地図 2 から読みとれる内容を述べた文として下線部が正しいものを、次のア～オの中
からすべて選び、その記号を書きなさい。(3 点)

ア A 地点の標高は、50 m より低い。

イ B の範囲の土地は、おもに田に利用されている。

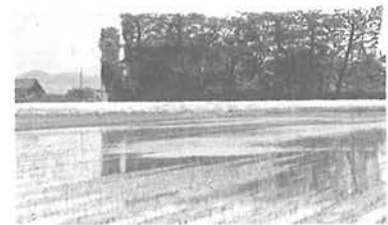
ウ C 地点から D 地点までの直線距離は、地図上で約 4 cm であり、実際の直線距離は約 1000 m
である。

エ E 地点には、警察署がある。

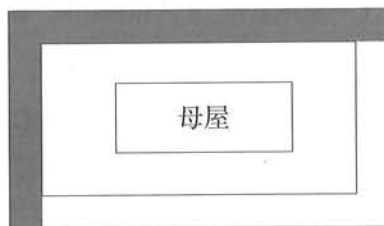
オ F 地点の「うんしゅうひらた」駅からみると、G 地点の工場はおよそ南西の方向にある。

(2) 島根県出雲市の平野部では、資料のように冬の季節風
を防ぐために、敷地内の中心の建物である母屋の高さよ
りも高い樹木を植えている民家がみられます。母屋の高
さより高い樹木の配置を であらわした模式図
として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、
その記号を書きなさい。(2 点)

資料



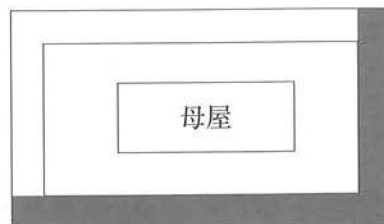
ア



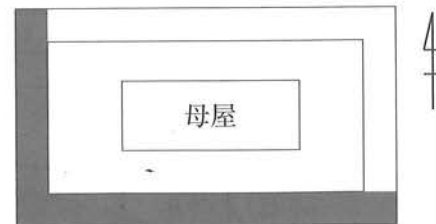
イ



ウ



エ



地図 2



(国土地理院 2万5千分の1 地形図「平田」平成 21 年発行一部改変)